

# O's news



2018年2月1日発行

## 「痕の残らない脳動脈瘤治療」

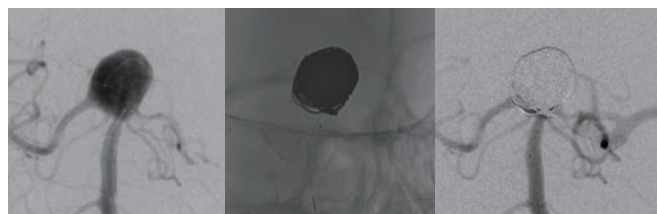
脳血管内治療科主任部長・脳卒中センター長  
大西 宏之

脳動脈瘤とは、脳の血管の壁が薄くなりコブ状に膨らんだものをいいますが、ひとたび破裂すると脳を包んでいるくも膜の内側に出血を起こし、くも膜下出血となります。くも膜下出血を起こしますと、約半数の方が生命にかかわる状態となってしまう、社会復帰できる方はたった3人に1人ぐらいの割合です。ですので、破れる前に脳動脈瘤を見つけ、見つかった場合は破裂をしないように予防することが重要です。残念ながらお薬では予防できませんので外科的手術が必要となりますが、ただ現在では開頭手術だけでなく、切らずに治せる脳カテーテル治療が進歩して参りましたので紹介致します。

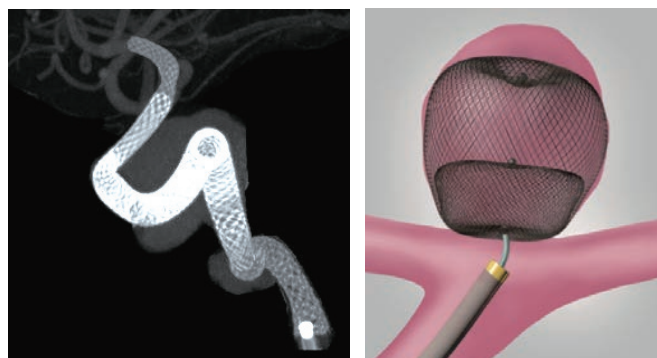
脳動脈瘤に対するカテーテル治療は「コイル塞栓術」と言います。動脈瘤内にプラチナコイルを留置することで血流を遮断し、血栓形成を促進することで閉塞させ破裂を予防します。このプラチナコイルは通常、極めて柔らかい純プラチナ製のフィラメントをコイル状に巻いて螺旋形状をつけたものを使用します。従来、動脈瘤の形状において動脈瘤の基部(ネック)が広いものはコイル塞栓術が不向きとされてきましたが、最近では風船付きカテーテルでコイルが正常血管に逸脱しないようにブロックする方法(バルーンアシストテクニック)や、ステントという金属の筒を動脈瘤の入り口に橋渡しするよう留置しコイルをブロックする方法(ステントアシストテクニック)が開発され、治療の適応が拡大されてきています。

新たな展望としては動脈瘤内にコイルを充填することなく、ネックを塞ぐことにより瘤を血栓化さ

せる治療も行われるようになってきました。これはフローダイバーターステントという非常にステントの編み目を細かくしたもので、親血管をステントで覆うことにより、瘤内への血流を抑制して血栓化を高め(整流効果)動脈瘤の完全閉塞を目指す新しい治療法です(Pipeline Flex®:Medtronic)。これらにより広頸動脈瘤や紡錘状動脈瘤、圧迫症状を呈する動脈瘤などにも血管内治療の適応が広がることが期待されています。さらに欧米ではflow disruption device という新たな概念が登場しています。これは Woven Endo Bridge (WEB) に代表されますが、フローダイバーターステントを提灯型に丸めたもので、これを一つ動脈瘤内に挿入するだけで動脈瘤が血栓化する優れたもので、このような新展開が動脈瘤治療において今後も期待されています。



従来のコイル塞栓術 (左:術前、中:コイル、右:術後)



フローダイバーターステント治療

Woven Endo Brige(WEB)

# 入職医師の紹介



最新鋭の施設のもと先進の脳外科治療を行っている大西脳神経外科病院での診療に憧れ、H30年1月より赴任させていただく事となりました。自己研鑽のもと一脳外科医として貢献できればと思っておりますので宜しくお願い申し上げます。(趣味:ラグビー／高校時代、花園に出場しました)



西岡 利和  
(にしおか としかず)



## ICUについて

看護師 戒 高弘

南4階病棟には、ICU(重症集中治療室)が6床併設されています。脳腫瘍や未破裂動脈瘤の術後だけでなく、けいれん重責発作、低血糖性昏睡といった様々な重症な患者様が入床される部屋となっています。ICUはオープンフロアになっており、最低限のプライバシーを守るためにカーテンによる間仕切りとなっています。これは重症の患者様の異常の早期発見のためです。また、人工呼吸器や心電図モニターといった医療機器が設置されており、患者様の病態によっては騒々しく感じるとは思いますが必要な設備です。

ICU内には、常に看護師が1名滞在しています。患者様だけでなく家族の方も不安なことがあれば、遠慮せずに聞きたいことが聞ける環境となっております。

これからも安全で安心できるICU看護を目指していきます。





日本の四季暦

# 「二十四節気と七十二候」のお話

ガーデンQoo  
秋吉 美穂子

きさらぎ

## 如月

厳しい寒さの中にも近づく春を感じる頃、草木の芽が張り出す「草木張り月」  
「衣(きぬ)」を更に着る「衣更着(きさらぎ)」など諸説あります。



## 大寒

二十四節気  
たいかん

1/30~2/3(第七十二候) 鶏始乳 / にわとりはじめてとやにつく

昔は時を告げる鳥として神聖視されていましたが、採卵目的で江戸時代から庭で飼われるようになったことから「庭鳥」に。

旧暦では大晦日にあたる「節分」、日本で初めて炒り大豆が宮中で撒かれたのは706年でした。

## 立春

一節気  
りっしゅん

2/4~7(第一候) 東風解凍 / はるかせこおりをとく

「東風(こち)吹かば匂いおこせよ梅の花~」春風が東方から吹き、厚い氷を溶かし始めます。独特のほろ苦さと香りの落の薑、冬の間にとまった体の毒素を出させる効果があると言われています。

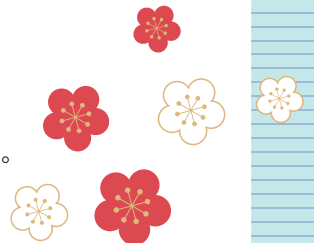


2/8~12(第二候) 黄鶯睨睨 / うぐいすなく

「鶯に夢さまされし 朝げかな 良寛」冬の間は藪に潜んでチチチッと鳴くだけだった鶯が、「ホーホケキョ♪」と高らかにさえずり春を告げます。

2/13~17(第三候) 魚上氷 / うおこおりをいずる

冬の冷たい水の中で、じっとしていた魚が春を感じ動き始めます。初春におめでたい紅白の梅、奈良時代以前は「花見」は梅を愛でることでした。水戸の偕楽園など各地の名所で梅祭りが開かれ、早春の香りにつつまれます。



## 雨水

二節気  
うすい

2/18~22(第四候) 土脉潤起 / つちのしょううるおいおこる

寒さがやわらぎ、雪が優しい雨にかわり、固い土が潤い命が目覚めます。水仙、猫柳、満作など早春のやさしい花が咲き、野山も少しずつ緑色に変わります。春の道端で咲くコバルトブルーの可愛い小さな花「オオイヌノフグリ」、植物学者牧野富太郎氏の命名です。



2/23~27(第五候) 霞始靄 / かすみはじめてたなびく

大気中に水分が増え「春霞」となり、山野にたちこめる優しい早春の風景です。どこからともなく香る「沈丁花」、香木の沈香のようなよい香りと、丁字のような花をつけることから。



雪や氷が水に変わり、春の気配に草木が蘇ります。だんだんと春になる。三寒四温。体調管理を心がけたいですね。

## 今月の花 サイネリア

キク科ペリカリス属  
原産地:カナリア諸島  
一年草扱い、多年草(木立性)

開花期:12月~4月  
花言葉:「いつも快活」「喜び」



冬から春への寒い時期に、赤、ピンク、ブルーの花を鉢の上にこんもりと咲かせ窓辺を明るく彩ってくれる定番の鉢花です。

和名を「富貴菊」、葉がフキに似ていることからつけられました。

寒さに弱いので、日のあたる室内で水切れに注意して花がらつみを忘れずに♪

近年人気の木立性サイネリア「桂華」、花の色も鮮やかで、寒さに強く、切り戻しにより次々と開花しておすすめです。



Ohnishi Neurological Center

# 外来担当医表

		月	火	水	木	金
1診	午前	大西	大西(宏)	久我	林	兒玉
	午後	—	大西(宏)	久我	林	兒玉
2診	午前	高橋	津田	角田	埜本	—
	午後	高橋	津田	角田	—	—
3診	午前	担当医	佐藤	担当医	富士井	担当医
	午後	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
5診	午前	津田	金光	津田	津田	前岡
	午後	津田	金光	津田	津田	西岡
6診	午前	脳血管内治療外来 高橋	—	脳血管内治療外来 大西(宏)/高橋	—	脳血管内治療外来 大西(宏)
	午後	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 林	脊椎・脊髄外来 山本
7診	午前	神経内科 立花	奇数月第4火曜日	—	内科 竈門(カマド)	神経内科 上田
	午後	—	てんかん 丸山	—	内科 竈門(カマド)	<13:00~> 麻酔科 鈴木

※診察受付時間:月~金 <午前>8:30~11:30 <午後>13:30~16:30 (H30.2)

## 連携協力医療機関のご紹介(No.144)

### しばはら整形外科 スポーツ関節クリニック

院長:柴原 基

【認定資格】医学博士・日本整形外科学会認定専門医・日本体育協会公認スポーツドクター・日本リウマチ学会専門医・日本骨粗鬆症学会認定医

【診療科目】整形外科

【住 所】兵庫県明石市魚住町錦が丘4-5-1駅前NSビル2階

【電 話】078-947-0808

#### 柴原院長からのメッセージ

当院は、幅広い年代の患者様に合わせた治療法を提案し、笑顔を与える地域密着のクリニックを目指します。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前(9:00~12:00)	○	○	○	/	○	○	/
午後(16:30~19:30)	○	○	○	○	○	/	/



## 連携協力医療機関のご紹介(No.145)

### ふじい眼科クリニック

院長:藤井 雅彦

【認定資格】日本眼科学会認定専門医

【診療科目】眼科

【住 所】兵庫県神戸市西区池上2-21-4池上医療ビル

【電 話】078-995-8100

#### 藤井院長からのメッセージ

患者様が「今日来て良かった」と納得できる診療を目指しております。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前(9:00~12:00)	○	○	○	/	○	○	/
午後(16:00~18:30)	○	○	○	/	○	/	/

※火曜日の13:00~15:00は手術  
手術のある日は診療時間の30分前に受付を終了いたします。  
休診日:木曜日、日曜日、祝祭日  
当院で初めてコンタクトレンズをつくられる方は受付終了の30分前までに来院下さい。



〒674-0064 兵庫県明石市大久保町江井島1661-1

TEL:078-938-1238/FAX:078-938-1236 mail info@onc.akashi.hyogo.jp <http://www.onc.akashi.hyogo.jp/>

地域医療連携室 TEL:078-938-1288/FAX:078-938-0399

発行責任者:院長 大西 英之 編集責任者:事務次長 瀧原 健司

